



TITLE:

質疑應答

AUTHOR(S):

---

CITATION:

質疑應答. 地球 1929, 12(6): 472-472

ISSUE DATE:

1929-12-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183688>

RIGHT:

## 質疑應答

問 シリアの經濟事情

大 阪 I 生

答 現在シリアと稱せらるゝ地方は、行政上レバノ共和国、シリア國、アラウィット縣、ドルズ縣の四區域に分かれたるが、事實相互の間に何等の障礙がない、佛國の委任統治區として一つになつてゐる。

シリアの貿易地としての價值は人口の稀薄なるに拘らず、毎年の輸入高が邦貨約一億圓に達することの他に、地理的に要衝の地を占むるが爲めに同地方を通じて行はれる近東諸國及奧地メソポタミア、ペルシア方面への通過貿易や再輸出が相當な高に上り今後大に望を囑せらるゝからである、これは古代羅馬時代に於ても東西交通の要點に立つて、この地方が有力な中繼貿易地であつた地理的位置の猶有力に作用する一證とみてよい。現にシリアからパレスチン、トランスヨルダニヤ、トルコ、イラク、ネジド、ヘジヤズ、サイブラスの方面に向ふ輸出高は毎年自國產品及外國品と併せて總輸出額の三割内外に達する。フランスはこの對外關係的地位を極力保護する方針である、故に兩三年前イラク及トルコの兩國と通過貿易に關する協定を結び又パレスチンとの間には一九二一年以來相互の物産に關稅を免除してある、亦シリア政府はベイルット、アレキサンドレツト兩港の保税倉庫設備を擴張し兩地からダマス、アレツボ地方への連絡を助長するために沙漠横斷自動車會社の設立に補助を與へ、所要材料の輸入には關稅を免除してゐる。

内地工業振興の爲めに昨年六月以來特許制度をしき、鞆皮工業、紡織、製油、莫大小、紙國、家具、製糸、製鋼、織布、鏡蓄器等の工場に特典を與へた、そこで近頃種々の工業が旺盛になつてダマス、アレツボ地方の粗製細布、絹布等が發達した、その製品は主として埃及、パレスチン、イラク方面に仕向けられる。猶近頃トリポリ、ベイルット、ハイファア間の連絡鐵道、トリポリの築港、イラクからの送油管等の計畫をほじめた。

シリア貿易の中心港はベイルットで、輸入貨物の七割五分輸出の五割を扱ふ所の第一位の港である、ダマスカスへの通過貿易品が多い。トリポリ港は内地のホムス、ハマ、アレツボ向の貨物輸入港であり、アレキサンドレツトはアレツボ及南トルコ領への門戸で北部シリアの物産輸出港である。最近三年間のこの國の輸出額は左の如くである。

	重量キロ	價格フラン
一九二六	七六、六九九、〇〇〇	五四四、八一三、〇〇〇
一九二七	一一四、〇九八、〇〇〇	五四七、七三三、〇〇〇
一九二八	七七、九四一、〇〇〇	五三四、八二四、〇〇〇

この中再輸出は三割五分に達する、輸出先きは埃及、佛國、米國、伊國、英國、獨逸、希臘の順序で、日本への輸出は統計上僅に三千圓内外の雜品に止まる。羊毛、生糸、繭、皮革果實等が主要産物であるから、日本へは輸出されない、輸入は常に輸出に超過し約七十萬法に上る。佛、英、米、伊、土の順序で織物ベルベット、莫大小、食料品、酒類、器械類等を主とする日本からは百五十萬圓内外を輸入してゐるが將來の見込はあるやうである。(F)